

あさひかわ と か ち

# 旭川十勝道路

(一般国道 237号)

ふらのきた

# 富良野北道路

再評価原案準備書説明資料

平成 27 年度

北海道開発局

## 目 次

1. 事業の概要	1
2. 事業の必要性等	5
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化	
(2) 事業の投資効果	
(3) 事業の整備効果	
3. 事業進捗の見込み	21
4. 関係する地方公共団体等の意見	22
5. 対応方針（案）	24

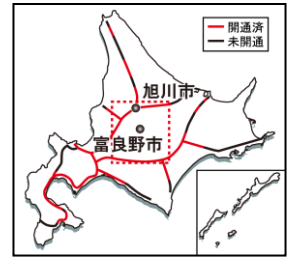
# 1. 事業の概要

## (1) 目的

旭川十勝道路は、旭川市を起点とし、富良野市を經由して占冠村に至る延長約120kmの地域高規格道路です。

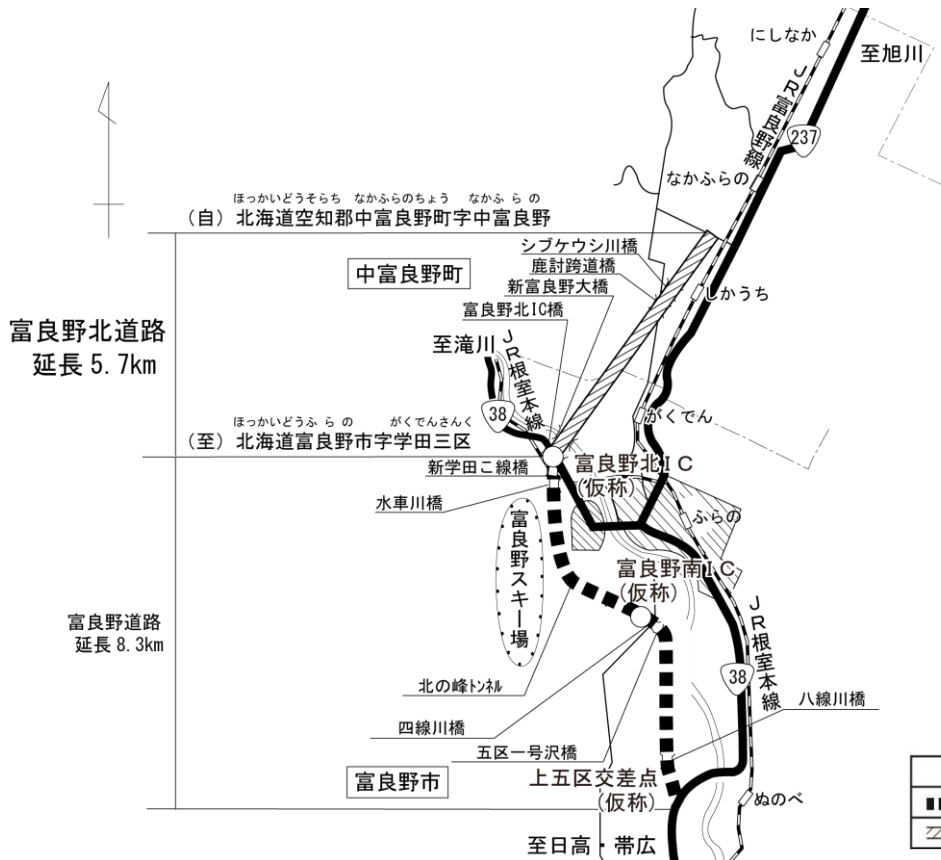
このうち富良野北道路は、高速ネットワークの拡充による上川圏と十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流効率化等の支援をするとともに、富良野市街における交通混雑の緩和等を目的とした、中富良野町字中富良野から富良野市字学田三区に至る延長5.7kmの事業です。

## ■位置図



凡 例	
高速自動車国道	開通区間
一般国道自動車専用道路	開通区間
地域高規格道路	整備区間
	計画区間
一般国道	
主要道道	

## ■事業概要図



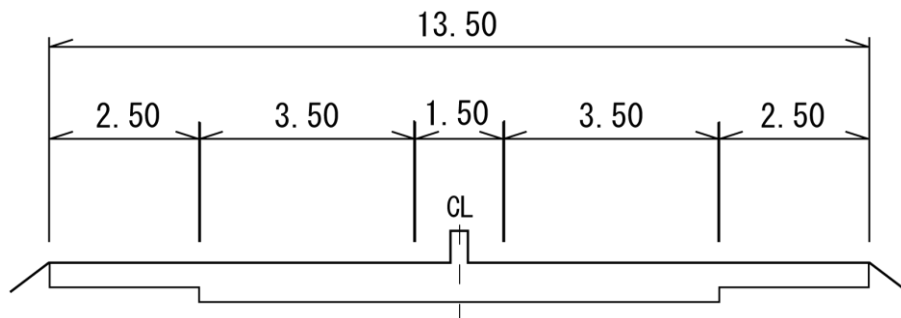
凡 例	
■■■■	事業中
////	再評価区間

## (2) 計画の概要

- ① 起点 ……<sup>ほっかいどうそらち なかふらの なかふらの</sup>北海道空知郡中富良野町字中富良野
- 終点 ……<sup>ほっかいどうふらの がくでんさんく</sup>北海道富良野市字学田三区
- ② 計画延長 …… 5.7 km
- ③ 幅員 …… 13.5 m
- ④ 構造規格 …… 1種3級
- ⑤ 設計速度 …… 80 km/h
- ⑥ 車線 …… 2車線
- ⑦ 事業主体 …… 北海道開発局

### ■横断面図

(単位：m)



(3) 経緯

平成20年度	事業化
平成22年度	用地補償着手 工事着手
平成24年度	事業再評価

## 2. 事業の必要性等

### (1) 事業を巡る社会情勢等の変化

#### [高速交通ネットワークの整備]

- ・平成21年10月 北海道横断自動車道  
占冠IC～トナムIC開通
- ・平成23年10月 北海道横断自動車道  
夕張IC～占冠IC開通

#### [その他]

- ・平成17年5月 シーニックバイウェイ北海道  
大雪・富良野ルート指定
- ・平成25年4月 富良野・美瑛広域観光圏整備  
実施計画認定



## (2) 事業の投資効果

### 1) 全体事業費の変更

平成24年度の再評価以降現時点において、事業費の変更を要する新たな事象は確認されておらず、全体事業費に変更はありません。

引き続きコスト縮減に取り組んでいきます。

全体事業費 (H24再評価)	全体事業費 (H27再評価)	増減額
176億円	176億円	0億円



## 2) 費用便益分析

### 費用便益分析の結果（事業全体）

全体事業費	計画交通量 (台/日)	車線数
176億円	5,500	2

#### ①費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	168億円	49億円	217億円
基準年における 現在価値（C）	139億円	16億円	155億円

注) 事業費の単純合計値は全体事業費から消費税相当額等を控除した値である。

#### ②便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
単年便益 (初年度便益)	10億円	1.2億円	0.88億円	12億円
基準年における 現在価値（B）	144億円	17億円	13億円	175億円

#### ③結果

費用便益比（B/C）	1.1
------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

#### ④感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	5,500	±10%	1.0~1.3
事業費	168億円	±10%	1.1~1.2
事業期間	12年	±1年	1.1~1.2

※便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

## 費用便益分析の結果（残事業）

### ①費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	161億円	49億円	210億円
基準年における 現在価値（C）	131億円	16億円	147億円

### ②便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
単年便益 （初年度便益）	10億円	1.2億円	0.88億円	12億円
基準年における 現在価値（B）	144億円	17億円	13億円	175億円

### ③結果

費用便益比（B/C）	1.2
------------	-----

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	5,500	±10%	1.1~1.4
事業費	161億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	9年	±2年	1.1~1.3

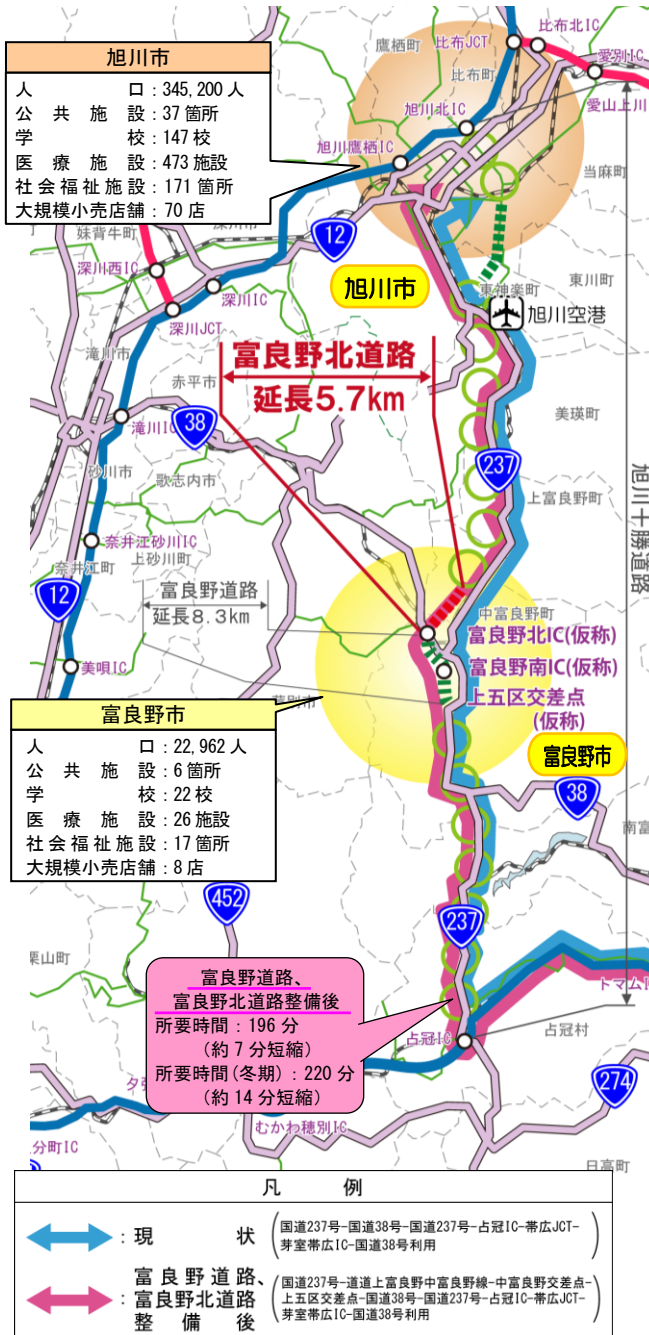
※便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

### (3) 事業の整備効果

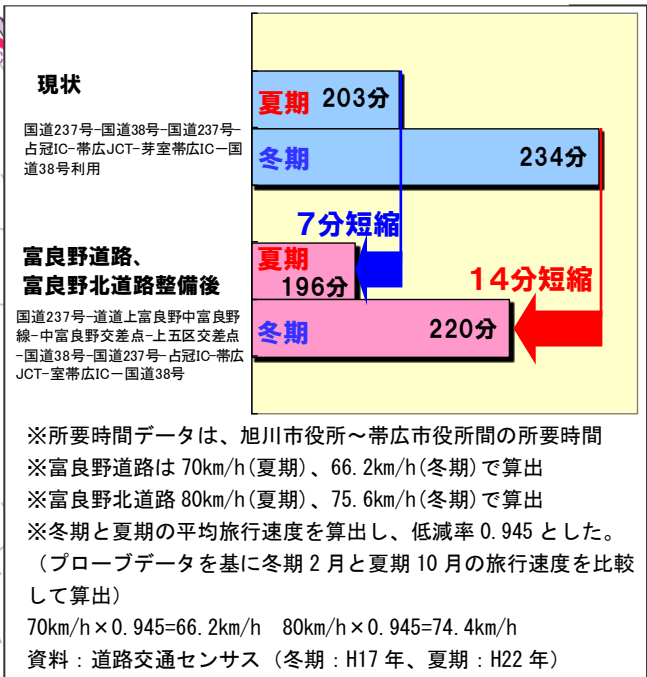
高規格幹線道路と一体となり、主要都市間の利便性が向上します。

当該事業は、旭川十勝道路の一部を構成し、高規格幹線道路である北海道縦貫自動車道及び北海道横断自動車道と一体となり、主要都市である旭川市と帯広市との連絡機能を強化します。当該道路の整備により、旭川市と帯広市との所要時間が夏期で7分（冬期は14分）短縮され、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待されます。

#### ■主要都市の状況



#### ■旭川市～帯広市間の所要時間の変化

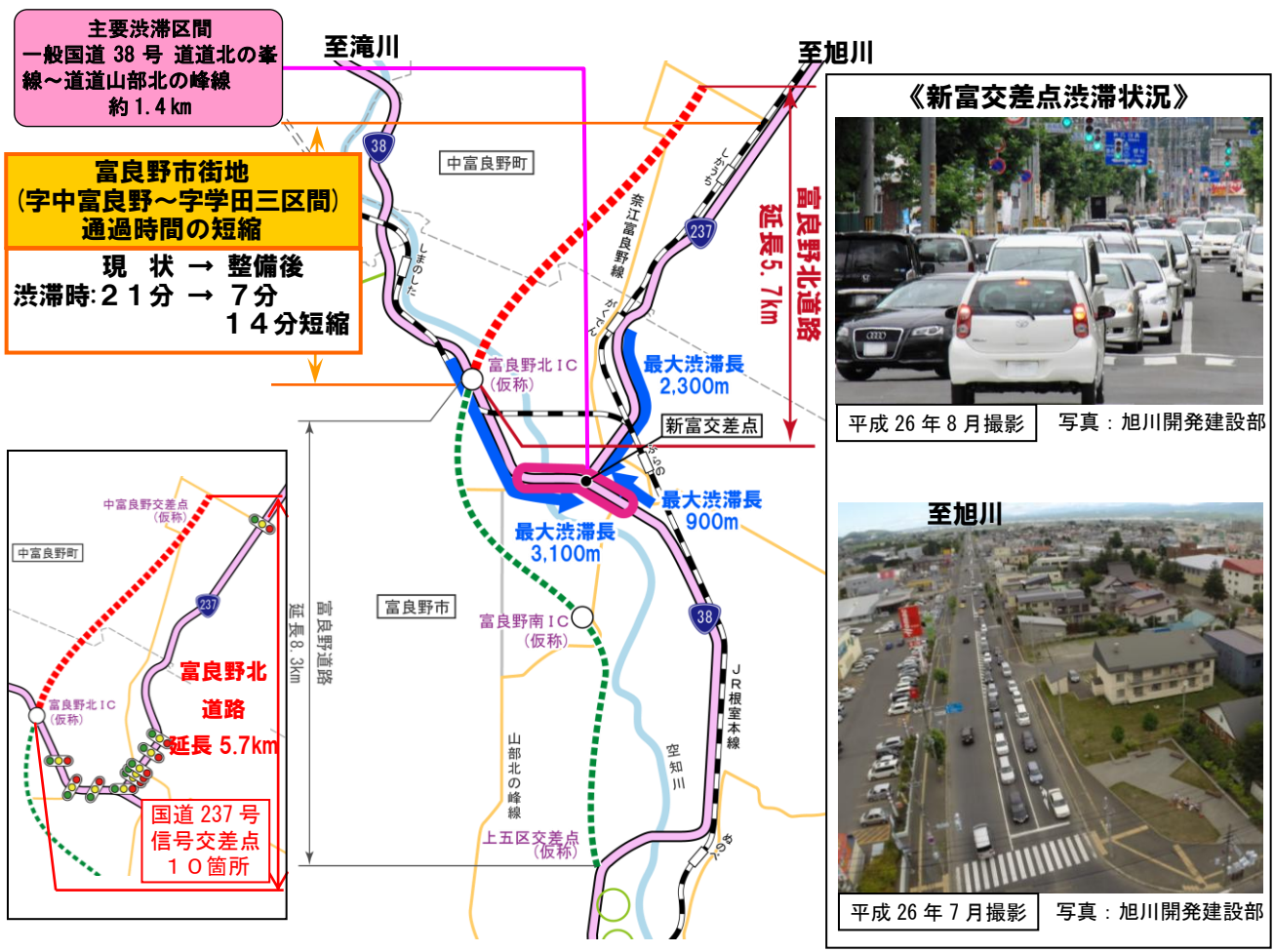


交通混雑の緩和が期待されます。

当該事業周辺地域は、富良野市や美瑛町など全国有数の観光地があり、並行する国道38号・国道237号には、北海道渋滞対策協議会で抽出された主要渋滞区間（道道北の峰線～道道山部北の峰線）や信号交差点（10箇所）が存在しています。夏期観光シーズンには、新富交差点など富良野市街で渋滞が発生し、滝川方面からの国道38号では、渋滞長が最大3,100mにも及んでいます。

当該道路の整備により、富良野市内を通過する交通の当該道路への転換が見込まれ、夏期渋滞時に字中富良野から字学田三区にて14分短縮されるとともに、主要渋滞区間の解消などによる交通混雑の緩和が期待されます。

■ 当該事業周辺の交通状況



※H26.7.20 実測値 至帯広 資料: 旭川開発建設部

■ 地域の声 (H27.5 バス会社職員)

- 都市間バスは、国道沿線とJR富良野駅前にバス停があるので、国道38号や237号、富良野市街地を走行しなければならず、観光シーズンの渋滞に巻き込まれ、度々運行遅れになります。
- サービス向上のためにも遅れは回避したいので、混雑解消が期待できる当該道路の早期整備を願います。



## ＜冬期観光の利便性向上＞

当該事業周辺の富良野市には、道内有数規模の富良野スキー場が立地しており、海外からも多くのスキーヤーが訪れています。

当該事業区間は、旭川空港、旭山動物園などと富良野を結ぶスキーバスが、9便／日運行しています。

当該道路の整備により、冬期交通における確実性及び安全性の高いルートが確保され、富良野市及び近隣観光エリアへの冬期観光の利便性向上が期待されます。

### ■冬期観光交通の安全性向上

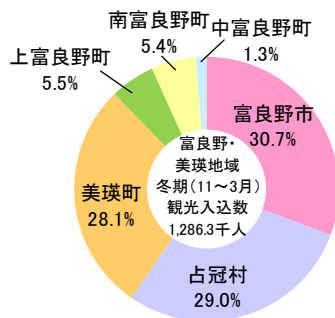


【道内の主なスキー場の規模 (H26年度)】

スキー場名	市町村	コース数	最長コース	リフト数
ルスツリゾート	留寿都村	37	3,500m	19(4)
ニセコマウンテンリゾートグラン・ヒラフ	倶知安町	30	5,600m	16(1)
ニセコビレッジスキーリゾート	ニセコ町	27	5,000m	6(1)
星野リゾートトマム	占冠村	25	4,200m	6(1)
富良野スキー場	富良野市	23	3,400m	10(2)
キロロスノーワールド	赤井川	21	4,050m	9(1)
マウントレーニススキー場	夕張市	18	3,500m	5(1)
サホロリゾートスキー場	新得町	17	3,000m	8(1)
サッポロテイネ	札幌市	15	6,000m	10(1)
さっぽろぼんけいスキー場	札幌市	14	1,200m	6(0)

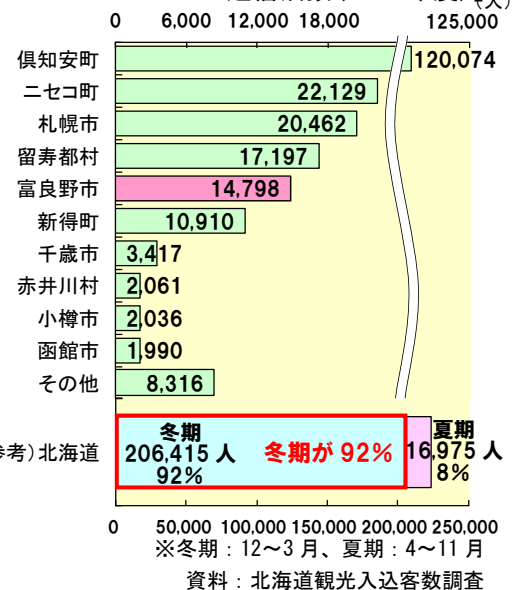
資料：北海道索道協会 ( ) 内はゴンドラ・ロープウェイの数

【富良野・美瑛地域冬期観光入込市町村構成比 (H26年度)】



資料：北海道観光入込客数調査

【オーストラリアからの観光客延宿泊数 (H26年度)】



資料：スキーバス運行会社ヒアリング

### ■地域の声 (H27.5 観光バス会社職員)

- 富良野やトマムの外国人スキー客には、旭山動物園へのバスは人気があり、多くのスキー客に利用していただいておりますが、動物園に滞在できる時間が昼食時間を含め約2時間半であり、バスの運行が遅れると滞在時間が削られる可能性があります。
- 当該道路の整備により移動時間が短縮され、旭山動物園の滞在時間を十分に確保できれば、利用客に満足していただき、リピートにも期待できるので、早期整備をお願いします。

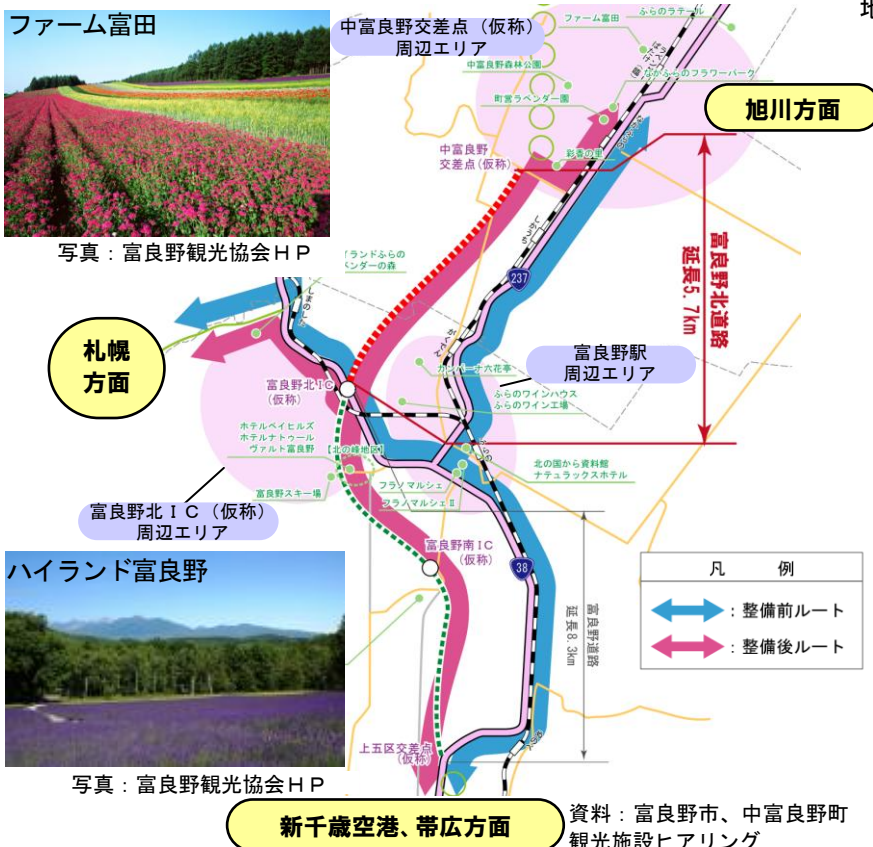
## ＜ I C 周辺観光施設の利便性向上 ＞

当該事業の富良野北 I C (仮称)、中富良野交差点 (仮称) 周辺には、富良野スキー場などのリゾート施設やファーム富田など、富良野市及び中富良野町の観光入込の約 5 割を占める主要観光施設が立地しています。

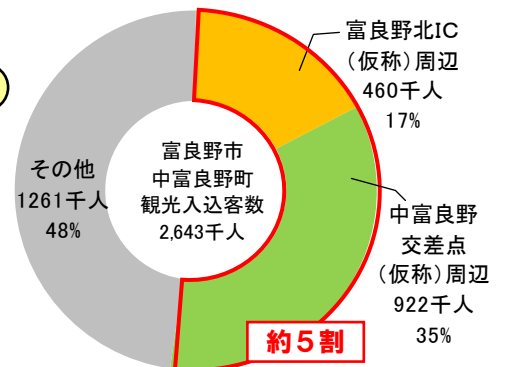
当該事業区間に並行する国道 38 号、237 号では、観光シーズンに富良野市街地で発生する渋滞により、これら観光施設へのアクセスや、施設間の円滑な移動が妨げられており、定時性及び確実性の高いルート of 確保が求められています。

当該道路の整備により、富良野市街地を回避する定時性及び確実性の高いルートが確保され、I C 周辺観光施設の利便性向上が期待されます。

### ■ I C 周辺観光の利便性向上

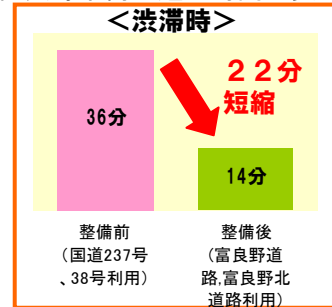


【富良野市、中富良野町の地区別観光入込割合 (H26 年度)】



資料：北海道観光入込客数調査 富良野市、中富良野町ヒアリング

【富良野市街地通過時間の変化】



※道路上富良野中富良野線・国道 237 号 交点～上五区交差点間の所要時間 一般道は H26. 7. 20 実測値

### ■ 地域の声 (H27. 6 富良野市宿泊施設職員)

- 観光シーズンでは以前、昼食の団体客の到着が遅れたことでランチの終了時間も遅れ、団体宿泊客の食事の準備とチェックインが重なり、従業員不足でチェックイン作業に時間がかかりキャンセルされたことがあります。多くのツアー客が訪れるファーム富田など、周辺観光施設からのスムーズな移動が期待できる当該道路の早期開通を願います。

### ■ 地域の声 (H27. 5 中富良野町観光施設職員)

- ラベンダーの時期になると札幌方面からも多くの観光客が訪れますが、札幌方面からの渋滞は、国道 237 号だけでなく、国道 38 号島の下を越えて、道道美唄富良野線にまで及んだことがあります。当該道路が整備されれば、富良野市街地を通過せずに当施設にアクセスできるので、早期整備に期待します。

# 物流の利便性向上が期待されます。

## ＜青果物の流通利便性向上＞

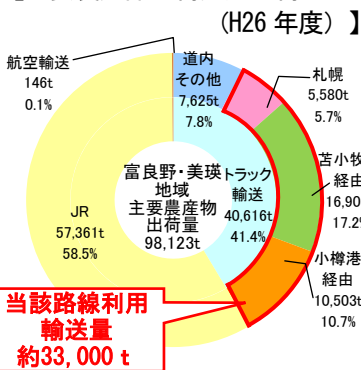
当該路線は、富良野・美瑛地域で生産されるにんじん、たまねぎ等の農産物を、札幌市や道外に輸送する重要なルートとなっています。

当該事業区間周辺の富良野市街の国道及び周辺道路の交通渋滞により、輸送時間の増大、混雑回避のための迂回などを強いられています。

当該道路の整備により、信号交差点を回避することで、速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、富良野・美瑛地域から札幌市や道外へ出荷される青果物（にんじん、たまねぎ等約33,000t/年）の流通利便性向上が期待されます。

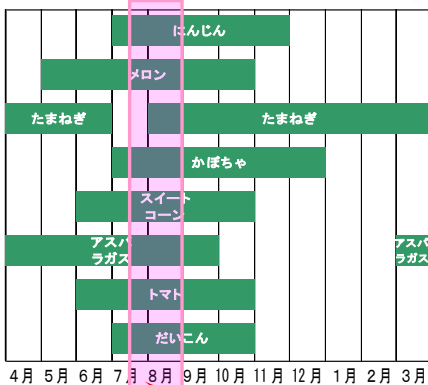
### ■青果物の流通利便性向上

【主要農産品出荷先別出荷量 (H26年度)】

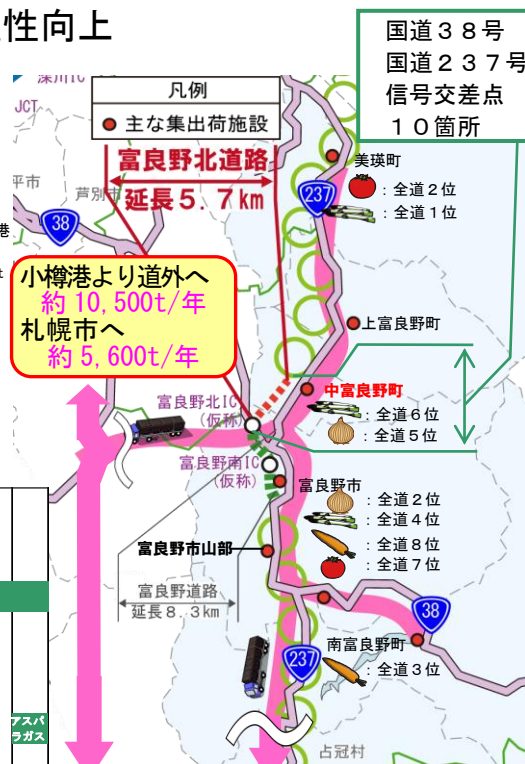


当該路線利用輸送量 約33,000t

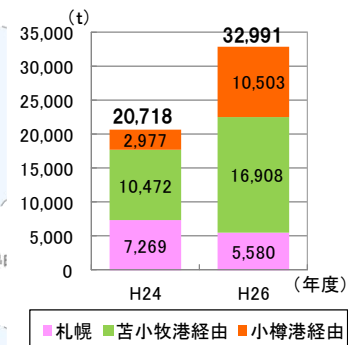
【主要農産物の出荷期間】



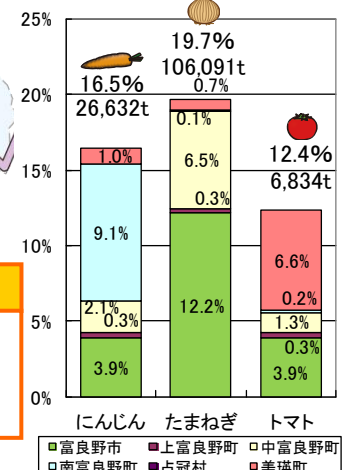
夏期観光シーズンに多様な農産物が出荷



【主要農産品トラック輸送量の推移】



【主要農産物の出荷量全道シェア】



資料：J A 富良野、J A 美瑛、農産品輸送会社ヒアリング  
 ※全道順位は、収穫量順位 (H25年) 資料：北海道農政事務所  
 ※主要農産品 J A 富良野：にんじん・メロン・たまねぎ・かぼちゃ・スイートコーン・アスパラガス  
 J A 美瑛：スイートコーン・トマト・だいこん・アスパラガス  
 ※富良野・美瑛地域とは、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、美瑛町

資料：農林水産関係市町村別データ (農林水産省) (H25)

### ■地域の声 (H27.5 農産品輸送会社職員)

- 観光シーズンの国道 237 号は、観光施設周辺や富良野市街地で特に混雑が激しくなります。観光地や景勝地周辺では路上駐車車両も多く、混雑を助長して輸送遅延するだけでなく、減速や徐行運転により、安定輸送も阻害されており、多少遠回りでも道道等を利用して輸送するドライバーもいます。
- 当該道路が整備されれば、富良野市市街地を回避できるだけでなく、混雑の要因となる車両が排除されれば、安定輸送及び時間短縮が期待できるので、早期開通をお願いします。



## ＜ I C 周辺生産流通施設の利便性向上 ＞

当該事業 I C 周辺には、電子部品工場や農産物の流通施設が多数立地しており、当該事業区間に並行する国道 38 号、237 号が、電子部品や米、青果物の道内外各地との輸送ルートとなっています。

当該事業区間に並行する国道 38 号、237 号では、観光シーズンに富良野市街地で発生する渋滞によって輸送遅延が生じるため、不整路面箇所が多い市町村道へ迂回するなど、速達性及び安定性の高いルートの確保が求められています。

当該道路の整備により、夏期渋滞時に中富良野町～札幌市間において、約 14 分短縮するなど、富良野市街地を回避する速達性及び安定性の高いルートが確保され、 I C 周辺生産流通施設の利便性向上が期待されます。

### ■ I C 周辺生産流通施設の利便性向上

【富良野道路周辺の生産流通施設と入出荷物流の事例】

電子部品工場

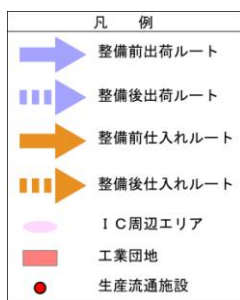


写真：旭川開発建設部

札幌・苫小牧方面へ

【電子部品出荷】  
4 t 車 約 2 台/日

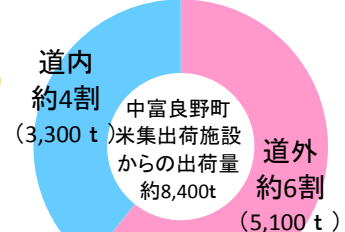
【米出荷】  
約 3,300 t / 年  
20 t 車 2 台/日



旭川方面から

【野菜類仕入れ】  
(にんじん、玉葱等)  
約 1,500 t / 年  
5~10t 車 約 1 台/日

【中富良野町米集出荷施設  
方面別出荷量 (H26 年度)】



資料：J A からの中富良野支所

【中富良野町～札幌市間の所要時間(渋滞時)】

当該区間整備前  
国道237号-国道38号-道道美幌  
富良野線-国道452号-道道岩見  
沢三笠線-国道12号

167分

14分短縮

153分

当該区間整備後  
道道上富良野中富良野線-中富  
良野交差点-富良野北IC-国道38  
号-道道美幌富良野線-国道452  
号-道道岩見沢三笠線-国道12号

※旅行速度：富良野北道路は 80km/、国道 38 号、237 号並行区間は H26.7.20 実測値、その他は H22 道路交通センサスにて算出

資料：J A からの中富良野支所、電子部品製造業者、農産品流通業者ヒアリング

#### ■ 地域の声 (H27.5 電子部品製造業者職員)

- 電子部品は精密で繊細な製品のため揺れや振動に弱く、過去にはトラックでの運搬中に製品が破損し、取引先からクレームを受けたことがあります。破損防止のため梱包に細心の注意を払っていますが、振動が発生しやすい道路は回避してほしいので、安定輸送が可能な当該道路の早期開通を願います。

#### ■ 地域の声 (H27.6 農産物輸送業者職員)

- 観光シーズンの市街地の渋滞は、発生を見込んで出発時間を早めても輸送が遅れ、通常トラック 1 台 1 日 2 回転のところを 1 回転しか運べず、翌日に延期したことがあるので、市街地等の渋滞箇所を回避できる当該道路の早期開通に期待します。

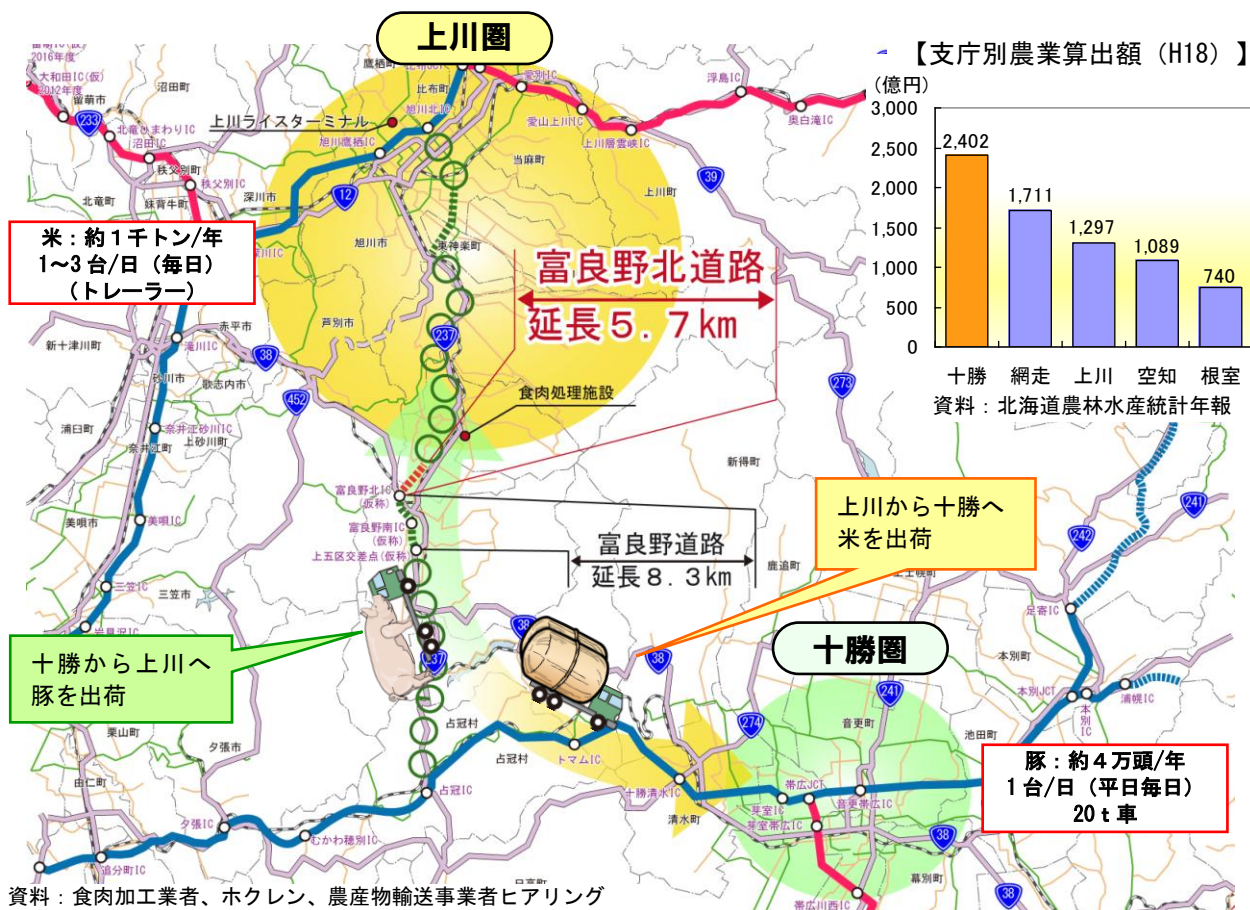
## ＜上川圏・十勝圏間の農産物流通の利便性向上＞

当該事業区間に並行する国道38号、237号は、十勝管内から上川管内へ、約4万頭の豚を上川管内から十勝管内へ、年間約1千トンの米を輸送するなど、十勝圏及び上川圏相互の物流を担う重要なルートになっています。

当該事業区間に並行する国道38号、237号は、富良野市街地において、冬期輸送時の揺れや振動の発生、観光シーズンの渋滞による輸送遅延が発生しており、安定性及び定時性の高いルートの確保が求められています。

当該道路の整備により、富良野市街地を回避する安定性及び定時性の高いルートが確保され、上川圏・十勝圏間の農産物流通の利便性向上が期待されます。

## ■上川圏十勝圏間の農産物流通の利便性向上



### ■地域の声 (H27.5 食肉加工業者職員)

- 冬期に家畜(豚)を輸送する場合、荷台の中が滑りやすくなり、路面の凹凸やマンホール等の穴による衝撃、交差点の右左折、停止・発進の繰返して転倒しやすくなります。転倒すると股間による内出血が発生し、過度のストレスで最悪死亡するケースがあるので、安定した輸送が可能になる当該道路の早期開通をお願いします。

### ■地域の声 (H27.6 農産物輸送業者職員)

- 上川から十勝方面への米の輸送は約3時間を想定していますが、観光時期は富良野市街地の混雑が激しく、輸送遅れが予想されるので、別の道路を利用します。当該道路が整備されれば、混雑が緩和され、輸送遅延も解消すると思うので、早期整備を願います。

災害時の緊急輸送ルートが強化されます。

### <十勝岳噴火災害時の緊急輸送活動の支援>

当該事業周辺地域では、十勝岳の噴火による被害が想定されており、第一次緊急輸送道路である国道237号は、泥流危険区域を約6.7km（旭川市～富良野市間57.0kmの約12%）通過しています。

また、昭和63年の噴火では、国道237号が約1週間（136時間）にわたって、通行止めとなりました。

当該道路の整備により、被災した地域からの迅速な救急搬送や救援物資等の輸送の確実性向上が期待されます。

### ■防災道路ネットワークの強化



### ■地域の声 (H27.5 中富良野町役場職員)

- 十勝岳噴火等で住民に対し医療活動が必要になった場合、泥流による道路の損壊などにより陸送が困難な場合はドクターヘリ等を要請することもあると思いますが、中富良野町から富良野市までは15分程度で行けるので、ヘリが到着するまでの時間を考慮すると、陸送が望ましいと考えます。
- 当該道路は、十勝岳噴火による融雪型泥流の到達範囲外にあり、道路の損壊で通行不可能になることがないと思うので、救急車の搬送経路が確保されるよう、早期開通を願います。



## 地域連携プロジェクトを支援します。

当該事業周辺の富良野、美瑛地域では、花や田園風景を活用した富良野・美瑛観光圏整備計画が策定され、国道237号でシーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルートに指定されています。近年は特に、上川～十勝の観光庭園を結ぶ北海道ガーデン街道が盛り上がりを見せ、平成26年4月には、新たに上川町の大雪 森のガーデンが加わるなど、広域観光圏の形成において、重要度が一層高まっています。

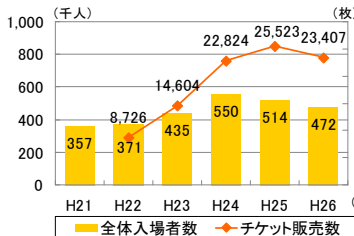
しかし、上川～十勝間は約250kmの移動距離を要し、本州からのツアーでは、各施設で十分な滞在時間を確保できないため、速達性の高い移動経路の確保が求められています。

当該道路の整備により、観光庭園間の速達性の高い移動経路が確保され、地域連携による観光振興への支援が期待されます。

### ■地域プロジェクト、広域プロジェクトの支援

地域連携を促進する  
道路ネットワークの形成

【北海道ガーデン街道観光客入込状況】



資料：北海道ガーデン街道協議会ヒアリング

#### 【富良野・美瑛 観光圏整備計画】



- 写真：富良野観光協会 HP
- 田園休暇バス事業 (くるる号)
  - 滞在プログラムパンフ作成
  - サイクリングマップ作成など

#### 【北海道ガーデン街道】



- 写真：旭川開発建設部
- 情報発信
  - 啓発活動
  - 周遊切符等連携
  - スタンプラリー など

#### 【シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート】



- 写真：旭川開発建設部
- 美しい景観づくり
  - 活力ある地域づくり
  - 魅力ある観光づくり など



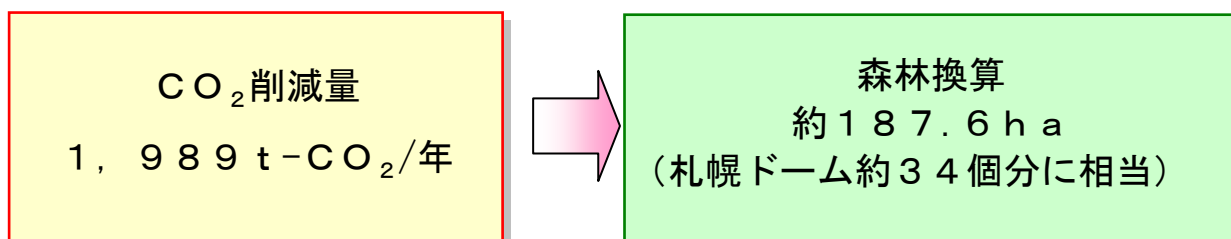
凡 例	
	富良野・美瑛 観光圏整備計画
	シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート 指定ルート
	シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート 構成地域
	ガーデン街道

### ■地域の声 (H27.5 北海道ガーデン街道事務局職員)

- ガーデン街道の施設を訪問する人は、富良野市街地をはじめ、他の観光施設に立寄ることはあまりないようなので、富良野市と上川方面とのガーデン施設間の移動で利用できると思います。
- 国道237号は、観光シーズンになると富良野市から美瑛町にかけて混雑が激しくなり、富良野市と旭川市間で想定している移動時間(100分)を越える可能性があります。事務局としては、少しでも長く施設に滞在してほしいので、移動時間の短縮が期待できる当該道路の早期開通に期待します。

自動車からのCO<sub>2</sub>排出量の削減が見込まれます。

CO<sub>2</sub>排出量は、整備なしでは、647,397 (t-CO<sub>2</sub>/年) ですが、当該道路の整備により、645,408 (t-CO<sub>2</sub>/年) となり、整備されない場合に比べ、1,989 (t-CO<sub>2</sub>/年) の削減が見込まれます。



※対象地域：旭川生活圈

※平成42年将来交通量推計を基に算出

※森林のCO<sub>2</sub>吸収量は10.6 t-CO<sub>2</sub>/ha・年として試算

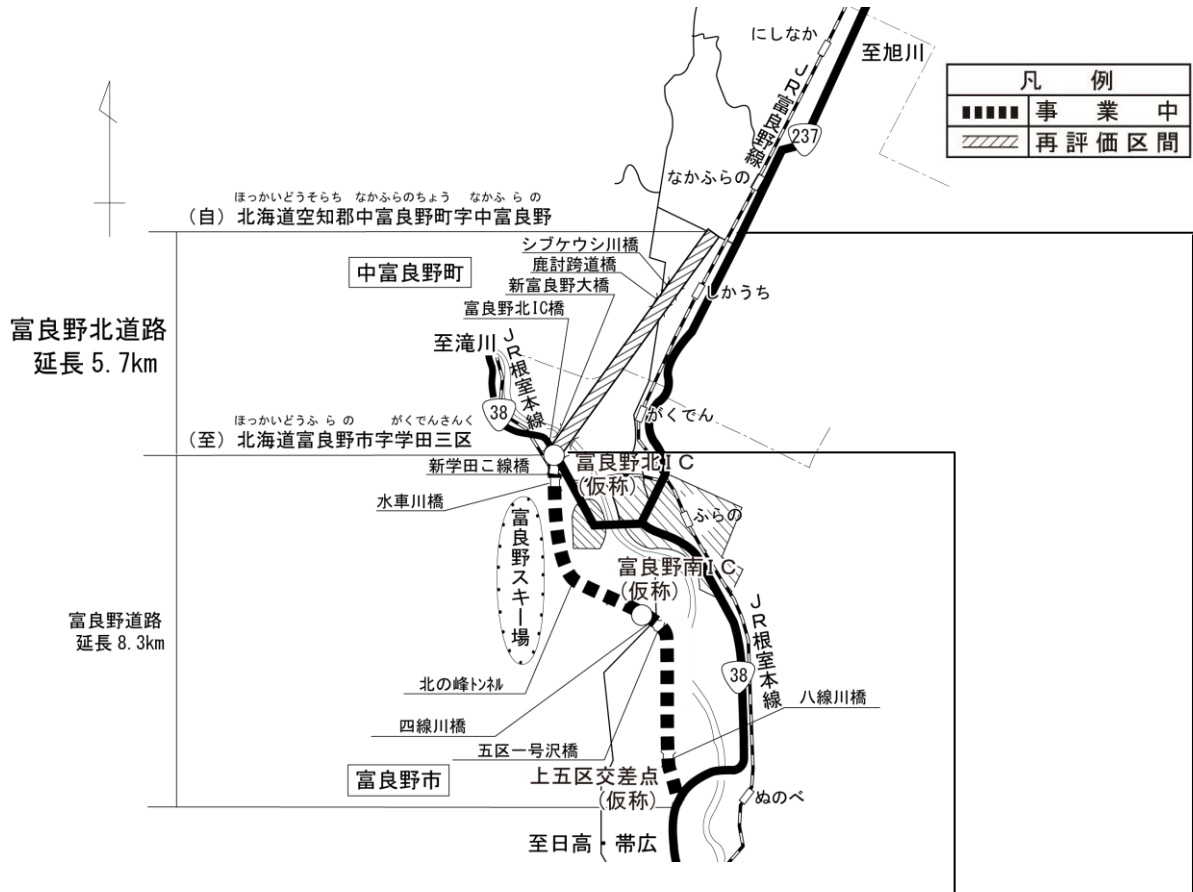
出典：『土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス（優良手法指針）』

※札幌ドーム面積は建築面積5.5haを使用し換算

### 3. 事業進捗の見込み

当該事業は、平成20年度に事業化、平成22年度に工事着手し、平成27年度北海道における事業計画（H27年5月）で、用地進捗率31%、事業進捗率25%となっています。

引き続き、早期開通に向けて事業を進めます。



用地進捗率	31% (22%)
-------	-----------

事業進捗率	25%
-------	-----

※用地進捗率及び事業進捗率は、平成27年度北海道における事業計画（H27年5月）ベース  
 ※（ ）内の用地進捗率は、用地補償費投入ベース（平成26年度末時点）

## 4. 関係する地方公共団体等の意見

地方自治体等やそれらで構成する団体が、事業促進の要望を行っています。

期成会等名称	会長等	主な構成メンバー	要望内容
北海道・北海道市長会・北海道町村会・北海道高速道路建設促進期成会・北海道道路利用者会議・北海道道路整備促進協会	北海道知事等	北海道等	幹線交通ネットワークの形成「地域高規格道路の整備促進」、観光ネットワークの整備「安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備」
北海道上川地方総合開発期成会	旭川市長	旭川市、美瑛町、上富良野町、士別市、名寄市、富良野市、当麻町、比布町、東川町、南富良野町、和寒町、剣淵町、下川町、鷹栖町、東神楽町、愛別町、上川町、中富良野町、占冠村、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町の首長及び議会議長	地域間の均衡ある経済の発展と生活領域の拡大を図る上で、高規格幹線道路網の整備建設が不可欠であるとして地域高規格道路（旭川十勝道路）の整備促進、富良野道路、富良野北道路、旭川東神楽道路の建設促進を要望
旭川十勝道路整備促進期成会	富良野市長	富良野市、旭川市、中富良野町、占冠村、東神楽町、東川町、上富良野町、美瑛町、南富良野町の首長	上川中・南部圏域における高速ネットワーク機能の実現、北海道上川地方と十勝地方の交流促進や地域経済活性化及び観光での交通混雑の解消、地域生活の利便性向上、災害・救急の経路確保の観点から、地域高規格道路旭川十勝道路の整備促進、富良野道路、富良野北道路、旭川東神楽道路の建設促進を要望
旭川市	旭川市長	旭川市	地域の発展と生活・生産の向上の観点から、他の地域生活経済圏との連携の強化に資する都市間交通網の形成のため、旭川十勝道路の整備促進を要望



期成会等名称	会長等	主な構成メンバー	要望内容
道北商工会議所連合会	道北商工会議所連合会 会頭	旭川、稚内、滝川、留萌、深川、名寄、砂川、富良野、士別、芦別、上砂川、歌志内、赤平商工会議所の会頭	道路交通体系の形成は、地域及び北海道の経済戦略上重要不可欠であるとの観点から、横断道及び縦貫道を結節し、広域ネットワークを形成する重要な道路であり、社会生活圏の拡大、市場圏の拡大、高次医療機会の確保、十勝岳噴火災害時の代替路などの効果が期待されるとして高規格道路（旭川十勝道路）の建設促進及び全路線の早期建設を要望

## 5. 対応方針（案）

富良野北道路は、高速ネットワークの拡充による上川圏と十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流効率化等の支援をするとともに、富良野市街における交通混雑の緩和等に寄与する事業と考えられます。

以上のことを勘案すれば、事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため、事業継続とします。

項目	細目	内容	
		事業全体	残事業
費用便益比（B/C）	3便益によるB/C ・走行時間短縮 ・走行経費減少 ・交通事故減少	B/C=1.1	B/C=1.2
地域の特異性を考慮した便益の検討	救急医療の改善効果	B=15億円（※）	B=15億円（※）
	余裕時間の短縮による効果	B=12億円（※）	B=12億円（※）
事業の整備効果	活力	交通混雑の緩和	・富良野市内を通過する交通の当該道路への転換が見込まれ、夏期渋滞時に字中富良野から字学田三区にて14分短縮されるとともに、主要渋滞区間の解消などによる交通混雑の緩和が期待される。
		物流の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;青果物の流通利便性向上&gt;</li> <li>・富良野・美瑛地域から札幌市や道外へ出荷される青果物（にんじん、たまねぎ等約33,000t/年）の流通利便性向上が期待される。</li> <li>&lt;IC周辺生産流通施設の利便性向上&gt;</li> <li>・夏期渋滞時に中富良野町～札幌市間において、約14分短縮するなど、富良野市街地を回避する速達性及び安定性の高いルートが確保され、IC周辺生産流通施設の利便性向上が期待される。</li> <li>&lt;上川圏・十勝圏間の農産物流通の利便性向上&gt;</li> <li>・富良野市街地を回避する安定性及び定時性の高いルートが確保され、上川圏・十勝圏間の農産物流通の利便性向上が期待される。</li> </ul>
	主要都市間の利便性向上	・旭川市と帯広市の所要時間が夏期で7分（冬期は14分）短縮され、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。	
	主要観光地への利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;広域観光の利便性向上&gt;</li> <li>・夏期渋滞時に字中富良野から字上五区にて22分短縮されるなど、確実性及び快適性の高い周遊ルートが確保され、主要な観光地への利便性向上が期待される。</li> <li>&lt;冬期観光の利便性向上&gt;</li> <li>・冬期交通における確実性及び安全性の高いルートが確保され、富良野市及び近隣観光エリアへの冬期観光の利便性向上が期待される。</li> <li>&lt;IC周辺観光施設の利便性向上&gt;</li> <li>・富良野市街地を回避する定時性及び確実性の高いルートが確保され、IC周辺観光施設の利便性向上が期待される。</li> </ul>	
	地域連携プロジェクトの支援	・観光庭園間の速達性の高い移動経路が確保され、地域連携による観光振興への支援が期待される。	
	安全	災害時の緊急輸送ルートの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;十勝岳噴火災害時の緊急輸送活動の支援&gt;</li> <li>・被災した地域からの迅速な救急搬送や救援物資等の輸送の確実性向上が期待される。</li> </ul>
		道路交通の安全性向上	・富良野市街地に集中する交通の分散が図られ、道路交通の安全性向上が期待される。
	環境	C02排出量の削減	・自動車からのC02排出量1,989（t-C02/年）の削減が期待される。
事業進捗の見込み	事業の進捗状況	・平成27年度北海道における事業計画で、用地進捗率31%、事業進捗率25%。	

（※）は、供用後50年間の便益額として試算した参考値。